

校長室だより

共学共高

第
82
号

令和7年6月24日発行

発行責任者

白梅学園高等学校長

武内 彰

合唱コン～全校優勝は3年2組

6月13日（金）ルネこだいらにおいて、合唱コンクールが開催された。現3年生（60期生）は、入学時より合唱コンクールを経験している学年である。こうして予定されている学校行事が開催できることは決して当たり前ではなかったのが、数年前までの現実である。

体育祭が終わってから2週間、毎日17時10分まで合唱練習が繰り広げられた。その後、わずか30分ばかりの部活動に参加する日々が続いたのである。

当日は各クラスとも、学校で最後の練習をしてから会場へと向かう。私も10時過ぎには学校を出て、会場の確認をしたのち、舞台袖で待機する。MCを務める放送部の3年生は、これで引退である。念入りにリハーサルを行っている。

開会式では、委員長のMさんによる開会宣言の後、審査員紹介、諸注意、学園歌斉唱と続く。ホールの関係もあるのかもしれないが、全校生徒の声がいつもより大きく響いているように聞こえた。

第1部は、1年生による合唱である。1年生にとっては、本校での初めての合唱コンクール。緊張した面持ちで登壇してくる。最初に登壇したのは、1年4組「その木々は緑」である。なかなかいい合唱を最初から聞くことができ、私は驚く。後で1年4組の生徒が自席に戻ってきた際、「他のクラスが予想以上に上手で・・・」と話していたが、なかなかでしたよ。次に登場したのは、1年1組「たましいのスケジュール」である。豊かな声量としっかりとした音程で、こちらも驚かされた。今年の1年生はレベルが高いのではないかと。1年7組の「世界で一番おいしいパンケーキ」は、生徒たちが本当に楽しいように歌っていたのが印象的である。私の中では、1年6組の「群青」も高いレベルであった。すべてのクラスに言及できないが、来年は2年生として、さらなるレベルアップが期待できるのではないだろうか。

第2部は、2年生による合唱である。私は音楽に関しては素人であるが、特に印象に残ったのは2年7組の「さくら」である。美しいハーモニーはもとより、声量の小さくしたところでもしっかりと言葉が届いてくるのが印象的だ。2年8組の「鳥よ空へ」も完成度が高い。いかにも合唱、として聞く者を感動させるレベルまで仕上がってきている。私の中では、2年2組の「せいっぱい」も高評価である。ハーモニーも美しいが、心に届いてくるものがある。2年1組の「春」も声量、ハーモニー、情感と、バランスがとれた仕上がりである。

どのクラスも来年は最後の合唱コンクール。さらなる飛躍が期待できる。



第3部は、最後の合唱コンクールとなる3年生の登場である。3年6組の「僕が僕を見ている」では、途中でジェスチャーが入ったり、笑い声が入ったり、斬新な取組をしていて、インパクトがある。後で保護者の方に聞いたところによると、校長賞を狙っていたらしい。（ごめんなさいね。選べなくて。）3年3組の「次元」、3年7組の「君が君に歌う歌」、3年4組の「いのちの歌」、3年5組の「はっか草」、3年1組の「鷗」、3年8組の「歌われて」はいずれも審査員泣かせの仕上がりである。声量も豊か、ハーモニーも美しい、差をつけるのが難しい。中でも私の心に最も届いてきたのは、3年7組の合唱であった。

全校優勝は、3年2組の「ボクはウタ」である。練習の時から高いレベルにあったのはわかっていて。ある日の練習が終わった後の同クラスKさんと私との会話。Kさん「合唱どうでしたか？」私「完成度が高いですね。相当上位に入るのでは？」Kさん「そう言っていただけで嬉しいです。最後の合唱コンなので、みんな気合が入っています。」

ただ、ここまで仕上げてくるとは思ってもみなかった。立派な合唱で、聞いていて背筋がぞくぞくした。3年生になると、どうしてこうも成長するのだろうか。どこからこうした力が湧いてくるのだろうか。3年間、見守っている中で、彼女たちの成長を実感させられる学校行事であった。教科の学びだけではない、学校行事を通しての学びや人間的な成長を成し遂げてくれることが嬉しい。

1 学年 第 1 位 1 年 1 組 第 2 位 1 年 7 組 第 3 位 1 年 4 組
2 学年 第 1 位 2 年 8 組 第 2 位 2 年 1 組 第 3 位 2 年 7 組
3 学年 第 1 位 3 年 2 組 第 2 位 3 年 3 組、3 年 6 組（同順位）
全校優勝 3 年 2 組 校長賞 3 年 2 組 伴奏者賞 3 年 3 組 F さん

（共学共高とは：本校のディプロマポリシー（育てたい生徒像）の一つで、「共に学び、共に高め合う」生徒の姿を表す）